

《担当者名》 浅野雅子 木村恵 本家寿洋 坂上哲可 桜庭聡 小玉武志

【概要】

発達系評価学で習得した知識をもとに発達障害における対象と障害像を理解し、対象疾患におけるプログラム立案から実際の作業療法の流れおよび治療・援助方法について学ぶ。

【学修目標】

【一般目標】

発達障害領域における作業療法について理解を深める。

【行動目標】

1. 発達領域における対象児の障害像および支援方法を説明できる。
2. プログラム立案から作業療法実施の一連の過程について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の進め方 治療・援助方法の概観	木村恵
2	脳性麻痺	脳性麻痺の病態像	木村恵
3	脳性麻痺	痙直型脳性麻痺	木村恵
4	脳性麻痺	アテトーゼ型脳性麻痺	木村恵
5	重症心身障害児	重症心身障害児の病態像と治療・支援	木村恵 小玉武志
6	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーの病態像と治療・支援	木村恵
7	二分脊椎	二分脊椎の病態像と治療・支援	木村恵
8	骨関節疾患	分娩麻痺、骨形成不全等の病態像と治療・支援	木村恵
9	知的障害	知的障害の治療と支援	木村恵
10	発達障害	広汎性発達障害の障害像と治療・支援	木村恵
11	発達障害	ADHD、LDの障害像と治療・支援	木村恵
12	発達障害	その他発達障害の治療と支援	木村恵
13	小児がん・内部障害	小児がん・内部障害に対する支援	木村恵
14	摂食・嚥下	摂食嚥下障害に対する作業療法	木村恵
15	まとめ	まとめ	木村恵 浅野雅子 本家寿洋 坂上哲可 桜庭聡

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験50%、レポート50%

【教科書】

福田恵美子 編集 「標準作業療法学 発達過程作業療法学第2版」 医学書院 2014年

【参考書】

Eva Bower 原著 「脳性麻痺児の家庭療育第4版」 医歯薬出版 2014年

長崎重信 監修 「発達障害作業療法学改訂第2版」 メジカルビュー社 2015年
田村良子 編集 「作業療法全集?発達障害改訂第3版」協同医書出版社 2010年
岩崎清隆 著 「発達障害の作業療法【第2版】 - 基礎編 - 」 三輪書店 2015年
岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法【第2版】 - 実践編 - 」 三輪書店 2015年

【学修の準備】

予習は、次回授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（80分）。
復習は、教科書、プリントなどを活用し、学修を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

木村恵、浅野雅子、本家寿洋、坂上哲可、桜庭聡（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

発達障害領域における医療機関、福祉機関での臨床経験を活かした教育を行う